

2 「環境先進地域」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	1	自然力を活かしたクリーンエネルギーの導入促進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>本県は、「緑と水と太陽の恵み」が日本一という大きな自然力を持っています。このかけがえのない自然力を最大限に活用した太陽光発電や小水力発電を一層普及促進するとともに、バイオマス資源の利活用を図り、「クリーンエネルギー先進県やまなし」の実現を目指します。</p>					
平成 23 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 県内クリーンエネルギー施設に関する情報の発信		P.30	森 林 環 境 部	
	○ 太陽光発電の普及と整備促進		P.30	森 林 環 境 部	
	○ 小水力発電の推進		P.30	企 業 局	
	○ バイオマス利活用の促進		P.31	森 林 環 境 部	
	○ 農村地域へのクリーンエネルギー導入の支援		P.31	農 政 部	
	○ メガソーラー発電所の活用の促進		P.32	企 業 局	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			6,830 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			1,886 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			1,886 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	太陽光発電(住宅用)による出力数	31,561 kW (H22)	72,131 kW (H26)	44,775 kW (H23)	32.6

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 県内クリーンエネルギー施設に関する情報の発信</p> <p>【環境創造課】</p>	<p>企画総務費 (3,840) 587</p>	<p>本県の豊富なクリーンエネルギー資源と活用技術を県内外にPRし、併せてクリーンエネルギーへの理解を図るため、国の「次世代エネルギーパーク」の認定を受け、クリーンエネルギー施設と周遊ルートの広報を行った。</p> <p>これにより、県内のクリーンエネルギー施設の知名度向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報パンフレットの作成、配布 30,000部 ・「富士の国やまなし次世代エネルギーパーク」の認定 平成24年1月
<p>2 太陽光発電の普及と整備促進</p> <p>【環境創造課】</p>	<p>企画総務費 (460,502) 348,925 [102,151]</p>	<p>太陽光発電の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電の普及率日本一を目指し、個人住宅への普及を図るとともに、公共施設への率先導入や大規模発電施設の誘致などを進めた。</p> <p>これにより、住宅や民間施設への普及が拡大し、大規模発電施設が県有地に整備される運びとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電設備設置費補助 交付件数 1,162件 ・民間事業者エコ改修推進モデル事業補助 交付件数 12件 ・青少年センターへの太陽光発電整備 ・県有地2箇所への民間メガソーラー発電所の誘致
<p>3 小水力発電の推進</p> <p>【企：電気課】</p>	<p>(電気事業会計) (495,043) 437,898</p>	<p>小水力発電の普及を図るため、市町村等に対する情報提供や技術支援、モデル施設の建設などを進めた。</p> <p>これにより、新たに5箇所の小水力発電所が県内に整備できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電モデル施設等の整備 完成 1箇所(深城発電所) 基本設計 1箇所(大城川砂防ダムを利用した発電所) ・小水力発電用設備の研究 地点調査と関係機関協議 ・市町村等への情報提供、技術支援 小水力発電開発支援室による支援 相談件数 57件 技術的支援 26地点

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 バイオマス利 活用の促進 【林業振興課】	林業振興指導費 (10,413) 10,025	農山村地域のエネルギー資源として、木質バイオマスなどの利活用を促進した。 これにより、資源の流通促進と利用施設の整備が図られるとともに、二酸化炭素削減に寄与した。 ・燃料用チップ材の搬出・運搬への支援 4,800m ³ ・県有施設へのペレットストーブの設置 5台
5 農村地域へのク リーンエネルギー 導入の支援 【耕地課】	土地改良費 (424,450) 40,660 [10,170]	農村地域における再生可能なエネルギーの利活用を図るため、太陽光発電や小水力発電の導入を促進した。 これにより、農村地域へのクリーンエネルギーの導入に寄与した。 ・太陽光発電、小水力発電の整備・支援 国における太陽光発電施設整備増設計画の承認 永井原地区 小水力等発電導入の適地調査の実施 県内4圏域
6 山梨の自然環境 を活かした水力 発電の推進 【企：電気課】	(電気事業会計) (1,030,679) 794,506 [100,569]	山梨の自然環境を活かしたクリーンエネルギーの供給を図るため、既設水力発電所の安定的稼働や新規水力発電所の開発に向けた調査・検討を進めた。 これにより、クリーンエネルギー電気の安定供給に寄与した。 ・既設水力発電所による電力の供給 供給電力量 528 百万 kWh 既設発電施設定期点検 西山発電所、広瀬発電所、天科発電所 ・新規水力発電地点の開発調査 県内3地点

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 メガソーラー 発電所の活用 の促進 【企：電気課】	(電気事業会計) (303,470) 253,286	<p>全国有数の日射量を有している本県の特徴を活かした再生可能エネルギーの導入を図るため、1万kWの太陽光発電所やPR施設を整備するとともに、次世代エネルギーについての情報発信を行った。</p> <p>これにより、「クリーンエネルギー先進県やまなし」を全国にアピールすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米倉山太陽光発電所の整備 米倉山太陽光発電所の完成 平成24年1月27日 ・米倉山太陽光発電所PR施設の整備 米倉山太陽光発電所PR施設オープン 平成24年1月28日 ・次世代クリーンエネルギーの情報発信 米倉山太陽光発電所PR施設から情報発信 平成23年度末までの入館者5,023人

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	----------	----------------------

政策	2	地球にやさしい省エネライフの推進と循環型社会の形成	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>東日本大震災を契機とした、電力供給対策や地球環境問題への対応から、ますます省エネルギー対策の重要性が高まっています。</p> <p>また、大量生産・大量消費の社会構造は、環境との調和に対し大きな問題となっています。</p> <p>このため、家庭や企業における省エネ対策を進めるとともに、環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会への転換を目指します。</p>					
平成23年度の主な取り組み状況	項 目			頁	担当部局
	○ 家庭の省エネ対策への支援			P.34	森 林 環 境 部
	○ 企業の省エネ対策への支援			P.34	森 林 環 境 部
	○ リユースびんの利用促進			P.35	森 林 環 境 部
	○ ごみ減量・リサイクルの推進			P.35	森 林 環 境 部
	○ 廃棄物最終処分場事業の推進			P.36	森 林 環 境 部
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			19,300 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			4,908 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			4,908 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	一人一日当たりごみ排出量	965 g (H21)	901 g (H26)	954.5 g (H22)	16.4
	産業廃棄物排出量	1,300 千トン (H21)	1,240 千トン (H26)	1,328 千トン (H22)	△ 46.7

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 家庭の省エネ 対策への支援 【環境創造課】	企画総務費 (1,500) 1,463	<p>家庭における省エネ対策を促進するため、「やまなしエコライフ県民運動」を推進し、緑のカーテン、環境家計簿の実施促進に向け、積極的な啓発活動を行った。</p> <p>これにより、緑のカーテン運動の参加団体数は95団体となり、また環境家計簿の回収率は一般用が26.14%、小学生用が56.82%となるなど、実践者の拡大が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテン実践者の拡大促進 緑のカーテンキャンペーンの実施（ゴーヤ等の種を配布） 平成23年4月 緑のカーテン運動の参加団体数 95団体 緑のカーテン運動推進店の登録店舗数 52店舗 ・環境家計簿の配布・回収及び分析・公表 環境家計簿の配布 一般用 5,000部 小学生用 4,838部 環境家計簿の回収 一般用 1,307部 小学生用 2,749部 環境科学研究所による分析・公表 やまなしエコライフ県民運動セミナーにおける研究発表 平成23年11月
2 企業の省エネ 対策への支援 【環境創造課】	企画総務費 (42,700) 42,159	<p>企業の省エネ設備導入を支援するため、施設整備を行う中小企業を支援するとともに、温室効果ガス排出抑制計画等を募集し、公表した。</p> <p>これにより、事業者や県民による自主的な取り組み拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出抑制計画の公表 173事業者 ・自動車環境計画の公表 24事業者 ・省エネ・省電力設備導入促進事業費補助金 交付件数 12件
3 環境にやさしいバスの普及 促進 【大気水質保全課】	———	<p>CNGバスやハイブリッドバスなど、環境にやさしいバスの導入を路線バス事業者に働きかけるとともに、国と協調して購入費用の一部を補助することで普及を促進している。</p>

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 リユースびん の利用促進 【環境創造課】	環境衛生指導費 (147) 131	<p>容器などの廃棄物の排出を抑制するため、やまなしエコライフ県民運動を推進するとともに、ごみ減量・リサイクル推進キャンペーンを実施し、再利用が可能なリユースびんの利用促進を図った。</p> <p>これにより、リユースびん運動の参加団体が69団体、リユースびん推進店が650店舗となるなど、県民や事業者によるびんの再利用の取り組み拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リユースびん運動の参加団体の募集 リユースびん運動の参加団体数 69 団体 ・リユースびん推進店の募集・登録 リユースびん推進店の登録店舗数 650 店舗 ・ごみ減量・リサイクル推進キャンペーンの実施 キャンペーン実施 24 市町村、4 林務環境事務所等
5 ごみ減量・リ サイクルの推 進 【環境整備課】	環境衛生指導費 (1,260) 1,260	<p>廃棄物の発生抑制や循環的利用等に関する第2次山梨県廃棄物総合計画の進行管理を行うとともに、実態に即した施策を推進するため、廃棄物の発生量、処理量、処理方法等を調査した。</p> <p>これにより、県内の廃棄物処理等の現状・課題等の把握に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理事業実態調査 平成23年8月～平成24年3月 ・産業廃棄物実態調査 平成23年7月～平成24年2月
6 環境にやさし い新資材等の 優先使用 【治山林道課】 【産業支援課】 【耕地課】 【技術管理課】 【営繕課】 【企：電気課】	商工総務費 (628) 387	<p>やまなしトライアル発注認定制度に基づく環境にやさしい新資材や先進的な新資材及び環境にやさしい工法や技術を公共事業で優先的に使用するための工事発注方法について全国の状況を調査した。また、県内中小企業者の新商品の市場への普及拡大（販路開拓）を支援するため、製品化した新商品のうち、県が定める基準を満たすものを「やまなしトライアル発注商品」として認定し、県の機関での試験的調達を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定商品数 10 商品 ・試験的調達所属数 16 所属

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 廃棄物最終処分場事業の推進 【環境整備課】	環境衛生指導費 (4,897,376) 4,862,464	<p>山梨県環境整備センター（明野処分場）に関しては、平成 24 年 2 月に「財団法人山梨県環境整備事業団（第一次）改革プラン」を策定し、約 47 億円と見込まれる事業損失を補てんすることとし、引き続き、事業団が本県における廃棄物最終処分場事業の中核的な役割を果たしていけるよう、財務基盤の安定化を図った。</p> <p>笛吹市境川町に計画していた次期処分場については、県内全市町村の一般廃棄物に限定した最終処分場を整備する方向で市町村等と協議を行った結果、平成 24 年 4 月から山梨県市町村総合事務組合が事業主体となり、整備が進められることとなった。これに伴い、事業団が平成 23 年度までに支出した経費を清算した。</p> <p>これにより、廃棄物の自県内処理の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県環境整備センターの管理運営 ・市町村の意向に基づく一般廃棄物処分場（次期処分場）の整備

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	3	活力ある林業の振興と豊かな森林の保全	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県は、県土面積の78%を森林が占める全国有数の森林県です。 森林の有する多面的な機能を保全し、良好な状態で次世代へ継承するため、適切な森林整備と社会全体で支える新たな森づくりを進めます。</p>					
平成23年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 森林整備の推進		P.38	森林環境部	
	○ 新たな路網整備の推進		P.38	森林環境部	
	○ 県産材の県内消費の拡大		P.39	森林環境部	
	○ 森林環境税の導入		P.39	総務部・森林環境部	
	○ 里山保全活動の推進		P.40	森林環境部	
	○ 県有林の適正な管理・保全		P.40	森林環境部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			15,400 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			4,380 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			4,380 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	民有林の森林経営計画等作成面積 (累計)	44,484 ha (H22)	48,900 ha (H26)	42,514 ha (H23)	△ 44.6
	素材生産量	148 千 m ³ (H22)	250 千 m ³ (H26)	155 千 m ³ (H23)	6.9

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 森林整備の推進</p> <p>【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】</p>	<p>造林費 (465,693) 144,091 [211,438]</p> <p>治山費 (524,995) 425,476 [99,519]</p> <p>造林費 (恩賜県有財産特別会計) (517,770) 499,424</p>	<p>森林の有する公益的機能の発揮のため、木材生産や 水土保全等を目的に管理している県有林、民有林にお いて計画的な間伐などの森林整備を推進した。 これにより、積極的に間伐及びその他森林整備が 3,653ha 実施され、森林の公益的機能が維持・向上 した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備（植栽・保育等） 2,820 ha ・間伐の推進 833 ha
<p>2 新たな路網整備の推進</p> <p>【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】</p>	<p>造林費 (12,625) 12,625</p> <p>林道費 (2,063,874) 1,390,571 [660,863]</p> <p>造林費 (恩賜県有財産特別会計) (140,246) 79,706 [58,666]</p> <p>林道費 (恩賜県有財産特別会計) (1,792,673) 1,032,799 [738,934]</p>	<p>森づくりを支える山村の活性化と効率的な森林整備 を実施するため、新たな路網整備を進めた。 これにより、林業生産性の向上に向けた取り組みや、 山村地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県林内路網整備計画の策定 平成 24年 3月 ・林道の整備 9.0 km ・森林作業道の整備 18.6 km

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 県産材流通対策の強化 【林業振興課】	林業振興指導費 (34,990) 34,862	<p>県産材の安定供給と需要拡大を図るため、広域的な供給体制の確立と、林業の低コスト化を支援した。</p> <p>これにより、木材の伐採・搬出・運搬作業の低コスト化が図られることでストックヤードなどへの集積が進み、県産材の広域的な供給体制、需要拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能林業機械及び車両系林業機械レンタルへの支援 18 事業体 (25 台) ・ストックヤードまでの間伐材搬出への支援 6,300m³ ・高性能林業機械への支援 3 台
4 県産材の県内消費の拡大 【林業振興課】	林業振興指導費 (370,263) 367,822	<p>県産材の県内での消費を拡大するため、公共建築物や公共事業等への利用、一般住宅への柱材などの提供、木工製品の開発支援を行った。</p> <p>これにより、木造公共建築物や住宅、公共事業等への県産材の利用が促進され、県産材の需要と消費の拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造公共建築物等の整備 7 施設 ・住宅等の県産材利用への支援 37 戸 ・県産材の需要拡大活動への支援 6 団体
5 森林環境税の導入 【税務課】 【森林環境総務課】	林業総務費 (4,653) 4,322	<p>土砂災害の防止や洪水の緩和、地球温暖化防止などの公益的機能を持つ森林を、県民の貴重な財産として適切に整備・保全し、次世代に引き継いでいくため、「森林及び環境の保全に係る県民税の特例に関する条例」及び「山梨県森林環境保全基金条例」を制定し、森林環境税の導入を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県民参加の森づくり県民意向調査」の実施 平成 23 年 4 月～5 月 ・「健全な森づくりを考える県民との意見交換会」の開催 平成 23 年 8 月 ・「森づくりを考える県民フォーラム」の開催 平成 23 年 8 月 ・「森林及び環境の保全に係る県民税の特例に関する条例」及び「山梨県森林環境保全基金条例」の制定 いずれも 9 月議会 ・普及啓発用ポスター (500 枚)、リーフレット (20,000 部) の作成等 平成 23 年 12 月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 広葉樹の森づくりの推進 【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】	造林費 (10,344) 10,344 治山費 (10,279) 10,279 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (63,600) 60,356	木材生産や水土保持等を目的に管理している森林において、国の制度を活用した広葉樹を主体とする多様な森づくりを行った。 これにより、水源のかん養や生物多様性の保全など、森林の多面的機能の維持増進に寄与した。 ・広葉樹の植栽 植栽面積 42 ha ・天然力を活用した針葉樹・広葉樹の混交林化 広葉樹の天然更新を図る更新伐・強度間伐面積 157 ha
7 里山保全活動の推進 【みどり自然課】	緑のふるさと推進事業費 (220) 78	企業・団体の森づくりの参加を促進するとともに、多くの県民が森づくり活動の効果に関心を持つ契機とするため、企業・団体が県内で行なう森づくり活動に対して、CO ₂ 吸収量を認証した。 これにより、47社・団体が52箇所で行なう森づくり活動を行い、前年度より、3社・団体、5箇所増加するなど、里山保全活動の推進に寄与した。 ・やまなしの森づくり・CO ₂ 吸収認証評価委員会の開催 2回 ・CO ₂ 吸収量の認証 13件、認証量 136.3 t-CO ₂
8 県有林の適正な管理・保全 【県有林課】	計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (1,738) 1,588 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (60,588) 40,039	県有林において、環境に配慮した管理・保全を行うため、計画的な間伐などの森林整備を実施するとともに、県有林材の安定的な供給を行った。 これにより、環境・経済・社会の各視点から持続可能な森林経営を評価する国際的な規準（F S C森林管理認証）に適合した、県有林の適正な管理・保全を図った。 ・F S C森林管理認証の継続認定 認証継続のための年次監査 平成 23 年 11 月 15 日～11 月 17 日 ・造林事業の実施 森林整備面積 2,145 ha（再掲） ・県有林材の市場への供給 供給材積 59,359 m ³

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	4	自然と調和した美しい農山村づくりの推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	6	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県の四季折々を彩る美しい農山村の景観は、全国に誇れる県民共有の財産です。 この景観を保全するとともに、生態系を維持していくため、耕作放棄地の再生活用や 鳥獣害防止対策など、自然と調和した美しい農山村づくりを進めます。</p>					
平成 23 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 環境保全型農業による有機の郷づくりの推進		P. 42	農 政 部	
	○ 耕作放棄地の再生活用の促進		P. 42	農 政 部	
	○ 鳥獣害防止対策の強化		P. 43	農 政 部	
	○ 効果的な被害防止施設の整備		P. 43	農 政 部	
	○ 野生鳥獣の保護管理の推進		P. 44	森 林 環 境 部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			11,240 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			3,602 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			3,602 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	農業生産工程管理（GAP）導入 産地数	8 産地 (H22)	24 産地 (H26)	12 産地 (H23)	25.0
	耕作放棄地解消面積（累計）	545 ha (H22)	1,250 ha (H26)	764 ha (H23)	31.1

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 環境保全型農業による有機の郷づくりの推進</p> <p>【農業技術課】</p>	<p>農業改良普及費 (16,702) 14,870</p>	<p>環境に配慮した農業を推進するため、有機農業の導入、有機性資源の利活用の取り組みなど、地球温暖化防止、生物多様性の保全効果の高い営農活動を支援した。</p> <p>これにより、環境保全型農業を産地単位で導入する取り組みが県内 203ha で実施されるなど、本県の環境負荷軽減に向けた農業の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業推進協議会の開催 平成 24 年 3 月 ・有機農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 有機農業推進協議会の開催 2 回 ・エコファーマーの認定 523 計画 ・肥料・農薬の使用実態モニタリング調査の実施 ・環境保全型農業直接支払いの実施(累計) <ul style="list-style-type: none"> 7 市村、約 69 ha (うち有機農業 約 56 ha)
<p>2 耕作放棄地の再生活用の促進</p> <p>【農村振興課】 【畜産課】</p>	<p>農業総務費 (33,484) 33,484</p> <p>畜産振興費 (530) 439</p> <p>農地調整費 (4,000) 4,000</p>	<p>優良農地を確保し、農村景観の保全を図るため、耕作放棄地等の実態把握や利用状況調査を行い、耕作放棄地の解消対策を推進するとともに、多様な担い手による耕作放棄地等の利活用を促進した。</p> <p>これにより、肉用牛の飼養管理の低コスト化を図るとともに、耕作放棄地の有効活用に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の調査、所有者等の指導 <ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の農地利用状況調査の実施 ・農地活用サポートセンターの設置・支援 <ul style="list-style-type: none"> J A ふえふきへの農地活用サポートセンターの設置・支援 ・肉用牛放牧による耕作放棄地の再生 <ul style="list-style-type: none"> 3 市 1 町 3.36 ha (平成 23 年 7 月～11 月)
<p>3 耕作放棄地の再生支援</p> <p>【耕地課】</p>	<p>土地改良費 (3,986,871) 2,737,793 [1,249,078]</p>	<p>耕作放棄地の解消及び発生を防止するため、基盤整備を行い優良農地への再生を支援した。</p> <p>これにより、優良農地の保全がされ、耕作放棄地の再生に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備の促進 <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 大草地区 外 1 地区 中山間地域総合整備事業 敷島地区 外 11 地区 農地環境整備事業 三富地区 外 5 地区 基盤整備促進事業 箕輪新町地区 外 3 地区

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 鳥獣害防止対策の強化 【農業技術課】	農業改良普及費 (21,985) 21,985	<p>地域による鳥獣害防止対策を推進するため、野生鳥獣被害対策連絡協議会において被害防止対策の総合的検討を進めるとともに、生息状況の把握と個体数管理を図りながら、関係団体及び地域が一体となった防止対策に取り組んだ。</p> <p>これにより、各地域において被害防止の諸対策が講じられたとともに、鳥獣害防止対策集落リーダーの育成等により、鳥獣被害の防止対策に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物鳥獣害防止対策会議の開催 平成 23 年 7 月 ・防護柵の設置等被害防止対策への支援 18 市町村協議会 ・鳥獣害防止対策に係る集落リーダーの育成・活動支援 鳥獣害防止対策集落リーダー 84 人 鳥獣害防止対策集落リーダーの育成に向けた研修会の開催 全体研修 平成 23 年 10 月～11 月 地区別研修 平成 24 年 1 月～2 月
5 効果的な被害防止施設の整備 【農業技術課】 【耕地課】	農業改良普及費 (19,912) 19,912 土地改良費 (516,018) 514,955	<p>野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、効果的な被害防止施設の整備を進めた。</p> <p>これにより、農業者の営農意欲を高め、耕作放棄地の減少などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県獣害防止柵整備計画の策定・推進 平成 24 年 3 月 ・電気柵等の鳥獣害防止施設の整備 延長 67 km 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル ・多獣種対応柵「獣堀くんライト」の普及 県下 4 地域にモデル展示ほ場を設置

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 野生鳥獣の保護管理の推進 【みどり自然課】	鳥獣管理費 (99,996) 68,982	<p>野生鳥獣による農林業被害の防止と生態系の保全を図るため、管理捕獲を実施するなど、特定鳥獣の保護管理を推進するとともに、鳥獣捕獲従事者の育成事業に対して支援した。</p> <p>これにより、ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルについて5,325頭捕獲し、野生鳥獣被害対策の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理捕獲への支援 <ul style="list-style-type: none"> 25市町村、2恩賜県有財産保護組合 ・ニホンジカ個体数調整捕獲の実施 10地区 ・鳥獣捕獲従事者の育成、技術講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 銃猟研修 12回 わな研修 18回 ・生息数等に係るモニタリング調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	5	快適で美しい環境の保全	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 日本のシンボルである富士山に代表される美しい自然を求め、全国や世界中から大勢の人々が本県を訪れています。 この自然と景観を保全し、「日本一環境にやさしい県やまなし」を実現するため、地域や関係者が一体となって景観形成や環境保全対策等を進めます。</p>					
平成23年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 美しい県土づくりの推進		P.46	県土整備部	
	○ 良好な屋外広告物景観の形成		P.46	県土整備部	
	○ 富士山世界文化遺産登録の推進		P.47	企画県民部	
	○ 世界遺産にふさわしい景観づくり		P.47	企画県民部・ 県土整備部	
	○ 富士山の環境保全の推進		P.48	観光部	
	○ 水資源の保護と適正利用の推進		P.48	森林環境部	
	○ 身近な生活環境の整備		P.49	森林環境部・ 県土整備部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			42,600 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			9,498 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			9,498 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	市町村景観計画策定数	3 団体 (H22)	22 団体 (H26)	5 団体 (H23)	10.5

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 美の郷やまなし づくり基本計画 (仮称)の策定 【森林整備課】 【耕地課】 【美しい県土づくり推進室】	————	<p>県民や来訪者が居心地の良さや幸せを感じることで できる景観を実現するための、「美の郷やまなしづく り基本計画（仮称）」について検討に着手した。</p> <p>これにより、関係部局の調整が進み、基本的な方向 性の確認がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 美の郷やまなしづくり基本計画策定 庁内検討会の実施 2回
2 美しい県土づ くりの推進 【美しい県土づくり推進室】	土 木 総 務 費 (25,000) 20,753 [4,000]	<p>県全体の景観形成を図るため、市町村における景観 計画策定をはじめとする景観施策を支援するとともに、 美しい県土づくり推進会議を設置、開催した。</p> <p>これにより、新たに 11 市町村が景観計画策定に着 手するとともに、県民の景観づくりを支援する仕組み が構築された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村景観計画策定への支援 策定完了 2 市町村 策定中 17 市町村 モデル地区における景観形成への支援 行政、住民説明会等の実施 4 市町村 美しい県土づくり推進会議の開催 平成 24 年 1 月 設立総会の開催 賛同 160 団体 推進大会の開催 参加者 408 人
3 環境との調和 に配慮した農 業基盤の整備 【耕 地 課】	土 地 改 良 費 (278,520) 250,170 [28,350]	<p>美しい農村景観を保全するため、農村における生態 系や自然環境等に配慮した農業生産基盤等の整備を推 進した。</p> <p>これにより、地域環境整備事業等の 4 地区において、 自然石を利用した施工方法等の基盤整備を行うなど、 美しい農村景観の保全に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境や景観に配慮した基盤の整備 地域環境整備事業等 増穂西部地区 地域用水環境整備事業 竜王地区 外 2 地区
4 良好な屋外広 告物景観の形 成 【美しい県土づくり推進室】	都市計画総務費 (15,199) 14,223	<p>美しい県土にふさわしい屋外広告物となるよう、事 業者や県民に対して屋外広告物制度の意義や内容を周 知するとともに違反広告物に対する是正指導の強化を 図る体制、制度を整備した。</p> <p>これにより、事業者や県民における屋外広告物制度 の意義や内容についての理解が深まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外広告物県下一斉パトロールの実施 2回 屋外広告物制度の普及啓発及び指導 是正指導の実施及び条例、規則改正による制度の 整備

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 富士山世界文化遺産登録の推進 【世界遺産推進課】	企画総務費 (64,268) 38,940 [13,808] 文化財保護費 (15,947) 6,102	<p>富士山世界文化遺産の早期登録に向け、文化庁への「富士山」推薦書原案提出、保存管理体制の整備・運営など、国、静岡県、市町村等と連携を図りながら対応を進めた。</p> <p>これにより、日本政府からユネスコへの推薦書の提出や、「富士山」の保存管理及び整備活用などを推進することを目的とした「富士山世界文化遺産協議会」の設置など、登録手続きの進展や登録後を見据えた保存管理体制の整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書原案の提出等 山梨、静岡両県が「富士山」推薦書原案を文化庁へ提出 平成 23 年 7 月 日本政府が「富士山」正式版推薦書をユネスコへ提出 平成 24 年 1 月 ・保存管理体制の整備・運営 山梨、静岡両県、国関係機関並びに関係 17 市町村で構成する「富士山世界文化遺産協議会」の第 1 回目の会議を開催 平成 24 年 3 月
6 世界遺産にふさわしい景観づくり 【世界遺産推進課】 【美しい県土づくり推進室】 【道路管理課】 【都市計画課】	企画総務費 (899) 222 土木総務費 (10,000) 3,326 道路橋りょう建設費 (483,966) 256,872 [227,094] 道路橋りょう整備費 (32,327) 21,725 [10,602] 街路事業費 (66,509) 45,958 [20,551]	<p>富士五湖周辺地域の美しい景観等を形成するため、「明日の富士五湖創造会議」の開催や、関係市町村における電線類の地中化の推進等、景観に関する各種取り組みを進めた。</p> <p>これにより、官民一体となって湖畔の清掃を実施するなど、世界文化遺産にふさわしい景観づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日の富士五湖創造会議の開催 山中湖 6 回、河口湖 9 回、西湖 3 回、精進湖 3 回、本栖湖（富士河口湖町）2 回、本栖湖（身延町）2 回、4 湖（河口湖、西湖、精進湖、本栖湖）全体 1 回 ・電線類地中化の推進 国道 139 号（富士吉田市上吉田地内） 外 1 路線 延長 1.45 km 都市計画道路船津小梅線（富士河口湖町小立地内） 延長 0.2 km ・モデル地区における景観形成への支援 行政、住民説明会等の実施 3 市町村 景観形成モデル事業の実施 2 村 2 地区

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 富士山クリーンアップ事業の推進 【環境整備課】	環境衛生指導費 (9,176) 9,121	<p>富士山麓の不法投棄物を一掃するため、市町村、NPO等と連携して、不法投棄により長期間放置されている廃棄物の撤去活動を推進するとともに、不法投棄の未然防止対策を実施した。</p> <p>これにより、富士山麓の不法投棄物の新規確認量及び年度末残存量が前年度比でそれぞれ30%及び25%減少するなど、富士山の環境保全の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の開催 2回 ・行政とNPO等との協働による不法投棄物の撤去 撤去活動回数 6回 撤去量：約32t(廃タイヤ2,737本) ・休日・夜間監視パトロールの実施 実施回数 470回
8 富士山の環境保全の推進 【観光資源課】	企画総務費 (19,316) 19,289	<p>富士山の環境保全を推進するため、富士山ボランティアセンターを拠点として、意識啓発を行うとともに、富士山レンジャー等による環境保全活動を進めた。</p> <p>これにより、富士山周辺の清掃活動に、延べ35,000人を上回る多数の参加や141,000kgを超えるゴミの回収などの富士山の環境保全活動の成果に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山憲章キャンペーン等の実施 富士山頂・道の駅・北麓駐車場等にて、延べ25日 ・富士山レンジャーの設置 4人 北麓地域の巡回、環境教育の実施 ・美化清掃活動団体への支援 2団体
9 水資源の保護と適正利用の推進 【森林環境総務課】	企画総務費 (21,800) 13,494	<p>将来にわたって安定した水需給の確立と水資源を活かした産業の振興を図るため、水政策基本方針の見直しや地下水の保護に関する条例の制定に向けて、水資源実態調査を行うとともに有識者による検討を行うなど必要な取り組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水資源実態調査の実施 平成23年8月～平成24年3月 ・水資源保全検討委員会の開催 平成24年2月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>10 身近な生活環境の整備</p> <p>【大気水質保全課】 【下水道課】</p>	<p>環境衛生指導費 (96,733) 89,222</p> <p>流域下水道建設費 (流域下水道事業特別会計) (2,508,391) 2,045,444 [419,456]</p>	<p>生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、清らかな清流を守るため、下水道や浄化槽などの生活排水処理施設を整備した。</p> <p>これにより、平成 23 年度末の生活排水クリーン処理率は 77.2%となり、前年度末と比較して 1.4 ポイント上昇し、生活環境の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置への支援 717 基 ・流域下水道の整備 <p>富士北麓流域下水道事業 汚泥濃縮設備増設（機械・電気） 富士北麓 3 号幹線の建設（推進） 富士北麓 2 号幹線の耐震化</p> <p>峡東流域下水道事業 峡東処理場の耐震化 峡東ネットワーク幹線の建設 金川幹線ほか管渠の耐震化</p> <p>釜無川流域下水道事業 水処理施設の増設 釜無川処理場の耐震化 双葉ポンプ場ほか 2 ポンプ場の耐震化</p> <p>桂川流域下水道事業 汚泥脱臭設備の増設（機械・電気） 桂川 1 号幹線の建設（推進） 松留ポンプ場外増設工（機械・電気）</p>
<p>11 北富士演習場問題解決に向けた取り組み</p> <p>【北富士演習場対策課】</p>	<p>企画総務費 (3,611) 2,587</p>	<p>北富士演習場について、全面解消、平和利用を目指し、段階的縮小を進めていくことを基本姿勢としながら、併せて演習場周辺の地域振興と民生安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北富士演習場対策協議会での協議 2 回 ・国への要望 演習場賃料及び林野雑産物損失補償等に関する国との協議 2 回 渉外関係主要都道県知事連絡協議会を通じての国への要請活動 平成 23 年 7 月
<p>12 北富士演習場周辺の生活環境の整備</p> <p>【治山林道課】</p>	<p>治山費 (67,170) 34,790 [27,886]</p>	<p>自衛隊等の演習行為又は防衛施設の設置により生ずる障害の防止等のため、治山施設等の防災施設を整備した。</p> <p>これにより不安定土砂の移動が抑えられ、演習場周辺の災害の未然防止に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 滝沢、与兵衛流の 2 地区

